

行政区域を越えた効率的な業務執行体制のあり方検討

現状と課題	これまで本市では、ニア・イズ・ベターの徹底の観点から、各区の特性・実情に応じた 24 色の区政運営を推進するとともに、局が実施する事業についても、24 区共通する課題については、区長会議において、区・局が協議・調整しながら、一体的な行政運営を推進している。 しかし、更なる効果的・効率的な行政運営、市民サービスの向上を追求するため、行政区域を越えた効率的な業務執行体制のあり方を検討する必要がある。
戦略・取組の方向性	【戦略】 区長会議、関係局連携のもと、複数区のブロック化の効果的な仕組みの検討を進める。 【取組の方向性】 ① 現在行政ブロックを設定している業務の経過や考え方を踏まえながら、複数区のブロック化の効果的な仕組みを検討する。
目標	6～7 年度 複数区のブロック化の効果的な仕組みの検討 ※ 8 年度以降の目標は、7 年度までの検討内容を踏まえて設定。

取組スケジュール

	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度
①	現状調査・ヒアリング等 -----> 対象業務の検討 ----->	仕組み案に向けた課題整理 -----> 課題を踏まえた仕組み案の検討 ----->		

(凡 例) 制度設計等：-----> 実施：——>

(出典)

大阪市HP「新・市政改革プラン ―未来へつなぐ市政改革―(令和6～9年度)(令和6年3月 大阪市)」より抜粋